

兵第一號又ハ第二號ニ依リ親任官ノ待遇ヲ賜フ者ノ員數ハ各三人以內トス。

内閣書記官長又ハ法制局長官ニシテ其ノ官歴又ハ其ノ他ノ閣僚特ニ優秀ナル者ニ付キテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。

陸軍司政長官、海軍司政長官暨軍務局長又ハ海軍軍務局長ニシテ軍占領地ニ於ケル重要ノ職ニ在リ職見經歷特ニ優秀ナル者ニ付キテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。

○ 親任官タリシ者又ハ親任官ノ待遇ヲ賜リタル者ニ對シテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。



大阪府知事從三位勲一等池田 清  
特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フ

右 勅ヒ日ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和十九年八月一日

内閣總理大臣小磯 國昭





ル者。

五第一號又ハ第二號ニ依リ親任官ノ待遇ヲ賜フ者ノ員數ハ各三人以內トス。

内閣書記官長又ハ法制局長官ニシテ其ノ官歴又ハ其ノ他ノ閱歴特ニ優秀ナル者ニ付キテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。

陸軍司政長官、海軍司政長官陸軍事務囑託又ハ海軍事務囑託ニシテ軍占領地ニ於ケル樞要ノ職ニ在リ識見經歷特ニ優秀ナル者ニ付キテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。

嘗テ親任官タリシ者又ハ親任官ノ待遇ヲ賜リタル者ニ對シテハ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フノ奏請ヲ爲スコトヲ得。

四三九

乙第四三八號

昭和十九年七月三十日

内務大臣 大 達 茂

内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿



大阪府知事從三位勳一等 池 田 清

右者其ノ閱歴ニ鑑ミ特ニ親任官ノ待遇ヲ賜ハルヤウ御取計相成度功績調書添付此段及稟申候也

19.7.31 付受

功績調書

大阪府知事從三位勳一等 池田清

右者大正二年七月東京帝國大學法科大學ヲ卒業シ同年十一月文官高等試験ニ合格スルヤ直ニ警視廳警部ニ任官、爾來警視廳警視、岐阜縣警察部長、内務書記官、京都大阪各府書記官ヲ歷任シ中央地方ノ樞職ニ携ハリシガ昭和四年七月二十三日内務省神社局長兼造神宮副使ニ勅任セラル、昭和六年六月二十六日ニハ朝鮮總督府警務局長ニ轉シ外地警察行政ノ衝ニ當リシガ其ノ後北海道廳長官、大阪府知事トシテ地方行政ノ第一線ニ立チ或ハ警視總監トシテ帝都治安ノ重責ヲ果シ昭和十五年一月十九日退官ス、其ノ後昭和十五年七月四日長

年ニ亘ル勳功ヲ嘉セラレ錦鶏間祇候仰付ケラレシガ昭和十七年一月  
 二十一日海軍司政長官ニ勅任セラレ南方占領地行政ノ任ニ當リシガ  
 同年五月十六日特ニ親任官ノ待遇ヲ賜ハリシモノニシテ勅任官在官  
 十三年内高等官一等タルコト十年有餘ノ長キニ亘レル其ノ閱歴ト功  
 績トニ鑑ミ特ニ相當ノ待遇ヲ附與スルノ必要アルモノト認メラル

順 原 書

從三位勳一等 池 田 清  
 明治十八年二月十五日生

大正 二 七  
 東京帝國大學法科大學卒業  
 文官高等試驗合格  
 一、一、三〇 任警視廳警部  
 一、一、三〇 任警視廳警部 七等  
 八、一〇、八 兼任警察講習所教授 六等  
 九、七、一 就任高等官五等  
 一、一、〇、一六 任群馬縣警察局長 四等  
 一、一、〇、二七 任内務書記官 四等  
 一、一、一、一七 兼任共進會主事 四等  
 一、一、三、一七 兼任明治神宮造營局書記官 四等  
 一、一、三、二〇 兼任明治神宮造營局書記官 四等  
 一、一、三、二〇 兼任明治神宮造營局書記官 四等

神社局總務課長ヲ命ス

大正一四 三二三 照外亮等官三等

一五 三三一 免兼明治神宮造幣局出務官

昭和 三 六一〇 任京都府書記官 三等

補警察部長

四 三六 任大阪府書記官 三等

補警察部長

七 八 任兵部縣書記官 三等

補内務部長

七二三 任内務省神社局長兼造幣局出務官 二等

六 六二六 任朝鮮總督府造幣局長 二等

七 三三一 任高島縣官一等

一六 四二二 任北海道廳長官 一等

一三 六五 任大阪府知事 一等

一四 九一五 任警視總監 一等

一五 六一九 任頭免本官

一三一 特旨ヲ以テ位一級補進

銜三位

一七 六一二 任海軍副政長官 一等

五一六 特ニ類任官ノ出賜ヲ賜フ

一〇一〇 勲一等瑞雲章

一九 八 任大阪府知事 一等



海軍次官正四位勲三等功三級井上成美  
特ニ親任官ノ待遇ヲ賜フ

右  
勅ト日ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和十九年八月四日

内閣總理大臣小磯國昭